

平芝自主防災会 自主防災活動の取組み

令和7年11月29日
平芝自治区
平芝自主防災会

ここでは、我々が行ってきた自主防災活動の取組みについて発表いたします。

- ・3年前まで、区民の皆さんを含め、我々は災害についてほとんど考えていなかった。
- ・1000年に一度の水害を知り、防災に取り組んできた
- ・どのようにして区民の皆さんの意識を高めて、さらに、防災活動に協力してもらえるようにするか？
- ・我々自身が防災に対する意識を持ち、気づき、そして危機感を持って、公表されたデータを元に、区民の皆さんと情報を共有し、災害について理解をしていくことと考えた
- ・そのような活動を通して、区民の皆さんとの協力のもと、一体となって防災活動に取り組むことができた

とは言え、

実は3年前まで、区民の皆さんを含め、我々は災害については、ほとんど考えていませんでした。

しかし、1000年に一度の水害ハザードマップを知ってから、防災に取り組みました。

取り組むにあたって、やはり区民の皆さんの理解と協力が必要ということで、どのようにしたら皆さんにご理解・ご協力いただけるかを考えました。

やはり、まず我々自身が防災に対する意識を持ち、気づき、そして危機感を持って、公表されたデータを元に、区民の皆さんと情報を共有し、災害について理解をしていただくことだと考えました。

そうすることで、区民の皆さんのご協力のもと、一体となって防災活動に取組むことができました。

平芝自主防災会 活動の歩み

3/47

	令和4(2022)年	令和5(2023)年	令和6(2024)年	令和7(2025)年
水害対応	☆令和3年3月9日 1000年に一度の水害ハザードマップ 崇化館地区防災講演会で 1000年に一度の水害H/Mを知る	☆7/20 豊田市水害H/M分析マイ・タイムライン 自主避難場所検討 ☆調査予告 ☆8/20 ☆11/12 6自治区 マイ・タイムライン(約100世帯受講) 防災訓練(ビデオ展示) 避難場所アンケート全戸配布 ☆1/23避難場所連絡(全世帯)	☆7/20 ☆11/12 6自治区 マイ・タイムライン(約100世帯受講) 防災訓練(ビデオ展示) 避難場所アンケート全戸配布 ☆1/23避難場所連絡(全世帯)	水害タイムライン作成
地震対応	☆平成25(2013)年5月 南海トラフ最大級公表 平芝公園地質調査(愛環・枝下用水) 区民たより特集ブラタモリ☆ (詳細は平芝自治区HP参照)	☆1/1能登半島地震 ☆防災体験 能登半島地震 情報収集・分析 避難計画 検討 地震 タイムライン作成	☆8/8南海トラフ 臨時情報 家具固定 ☆各隣組班分け アンケート 防災班組織化	6地区防災訓練☆ 家具固定
防災・マップ	☆平成27年 前回マップ作成 ☆平成29年3月 崇化館地区防災カルテ 崇化館地区防災カルテ分析	☆カルテ原案作成 校正・最終版原稿作成 ☆最終版原稿作成 校正・印刷 ☆原稿作成 校正・印刷 ☆見積照会	ホームページ立上げ☆ マップ原案作成 校正・最終版原稿作成 ☆最終版原稿作成 校正・印刷 ☆見積照会	全世帯配布 安否確認システム構築 試行☆☆ 評議員会・組長諸団体 全世帯安否入力訓練☆
その他			☆崇化館中1年総合学習(防災)アドバイザー☆ ☆拳母小2年生社会科見学☆	☆崇化館地区防災フェア事例発表

これが過去3年間で我々が行ってきた活動内容です。

まず、令和5年1月に1000年に一度の水害ハザードマップを目にして、自治区の約半分が水没するというシミュレーション結果を知ったことで、一昨年は1年かけて水害について取組みました。

昨年は、1月1日の能登半島地震をきっかけに、地震について1年間取組みました。

また同年、防災マップおよび防災カルテを作成し、全世帯に配布しました。

本年は安否確認システムを立ち上げ、10月の防災訓練の後、安否確認入力訓練を行いました。

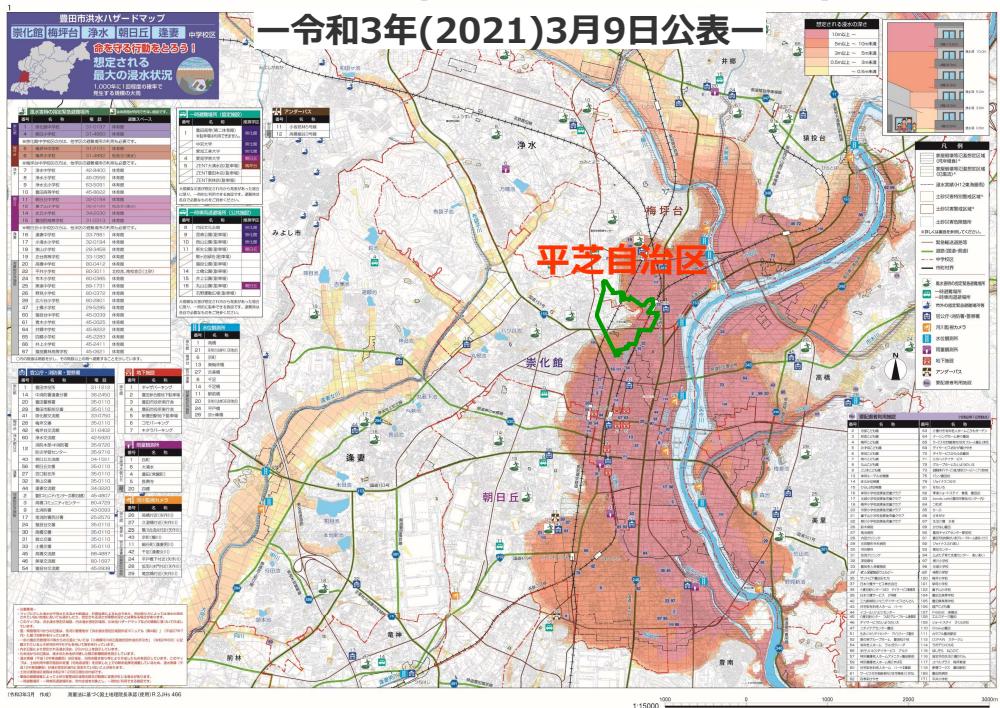
それでは、我々の防災活動について具体的に説明します。

— 水害への対応 —

まずは、水害への対応です。

豊田市水害ハザードマップ[°] (1000年に一度の水害)

5/47



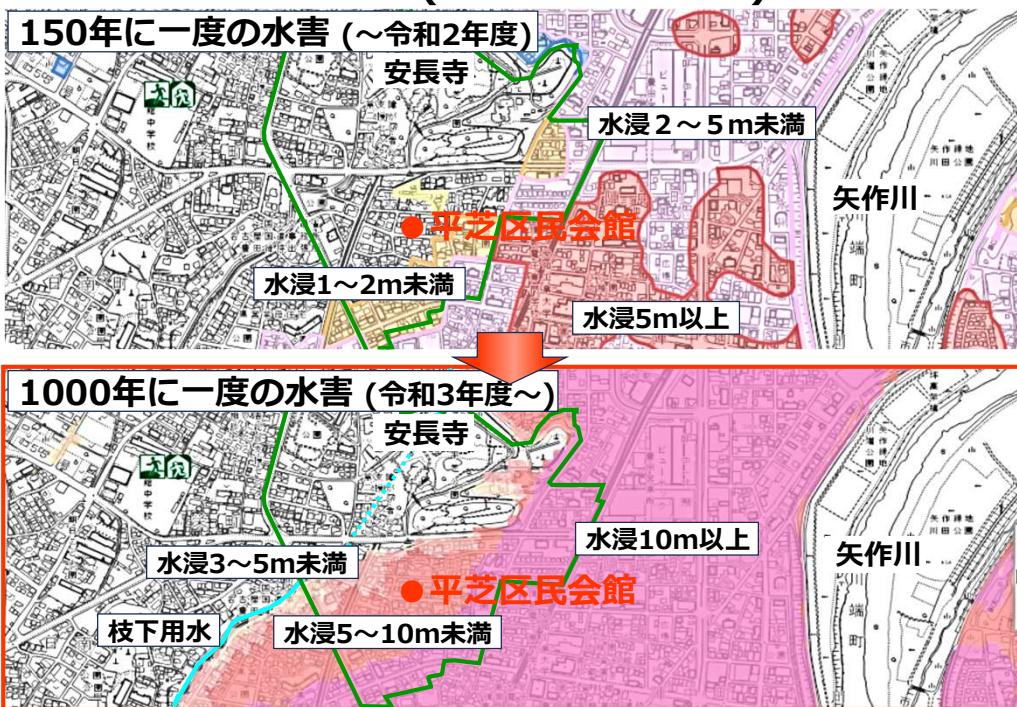
これは、令和3年3月9日に豊田市が公表した、1000年に一度の水害ハザードマップです。

緑で囲った部分が平芝自治区で、自治区の半分は水没、残り半分は助かるということが分かりました。

自治区部分を拡大してみます。

洪水ハザードマップの改定 (150年→1000年)

6/47



上は、1000年に一度以前に公表されていた、150年に一度の水害ハザードマップです。

平芝自治区は水浸2メートル未満とのことで、平芝区民会館を含め、殆どの地域は水没をまぬかれていました。

これが、下の1000年に一度の水害の場合、枝下用水より東側は殆ど水没するという予測に変わりました。

水害シミュレーション (豊田市水害情報サイトより)

7/47



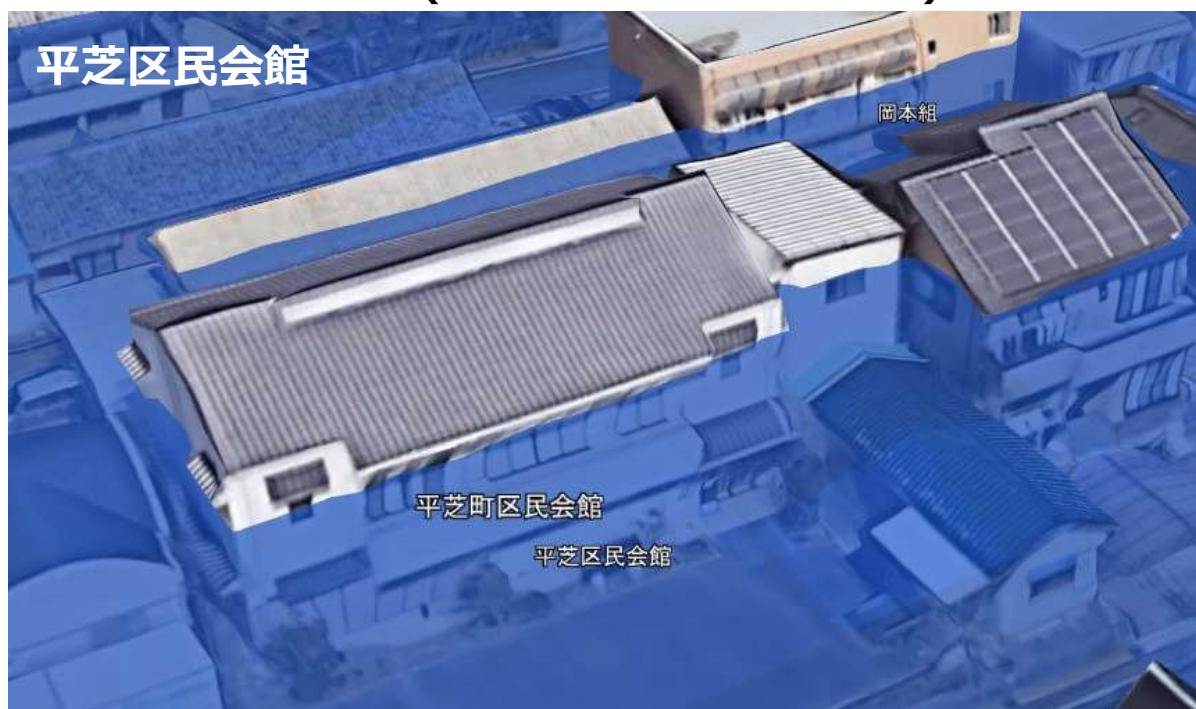
これは、豊田市が公開している1000年に一度の水害シミュレーションです。

これを見ますと枝下用水より東側が、水没している様子がよく分かります。

これを区民の皆さんに見ていただいたら、結構インパクトがあったようで、皆さん自分の家がどうなっているのか、興味津々で見入っておられました。

洪水シミュレーション (豊田市水害情報サイトより)

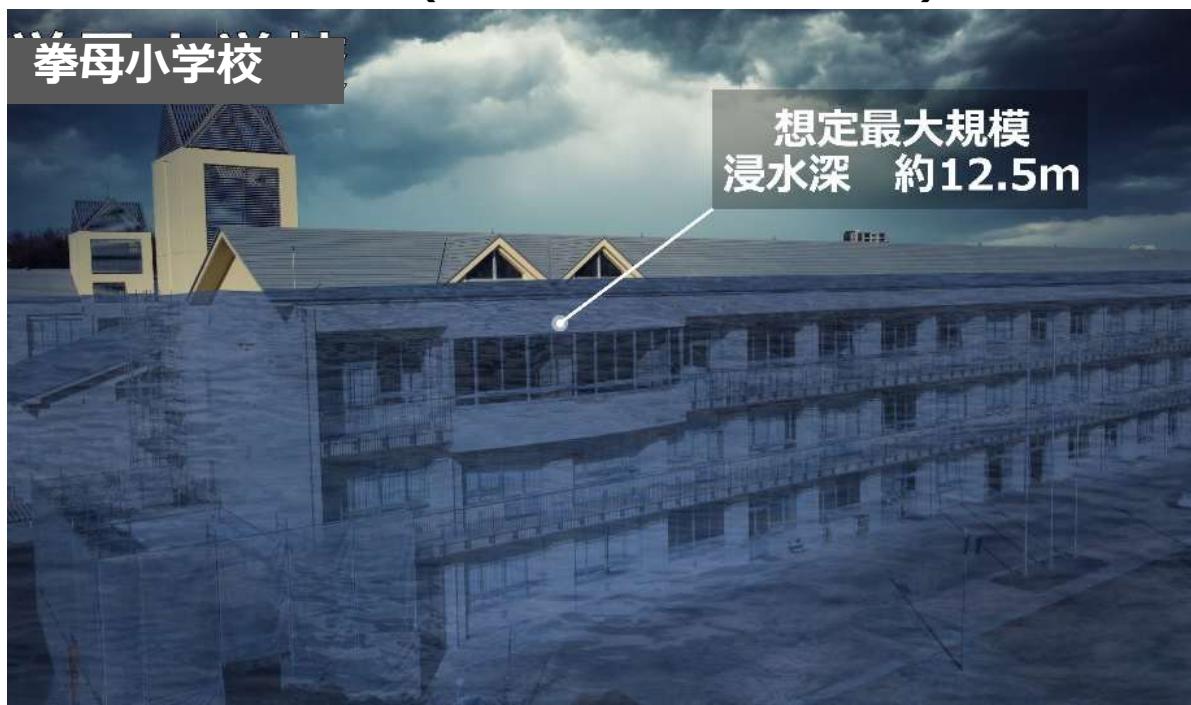
8/47



平芝区民会館の様子です。

洪水シミュレーション (豊田市水害情報サイトより)

9/47



これは、拳母小学校です。
1000年に一度とは言え、いつ起きるか分かりません。
このような事態になった時のことを考え、自治区として独自の
避難計画を立てることにしました。

矢作川における警戒水量と避難警報 (高橋付近)

10/47

平芝町4, 5丁目

妙玄公園
6丁目北西側

6丁目北側

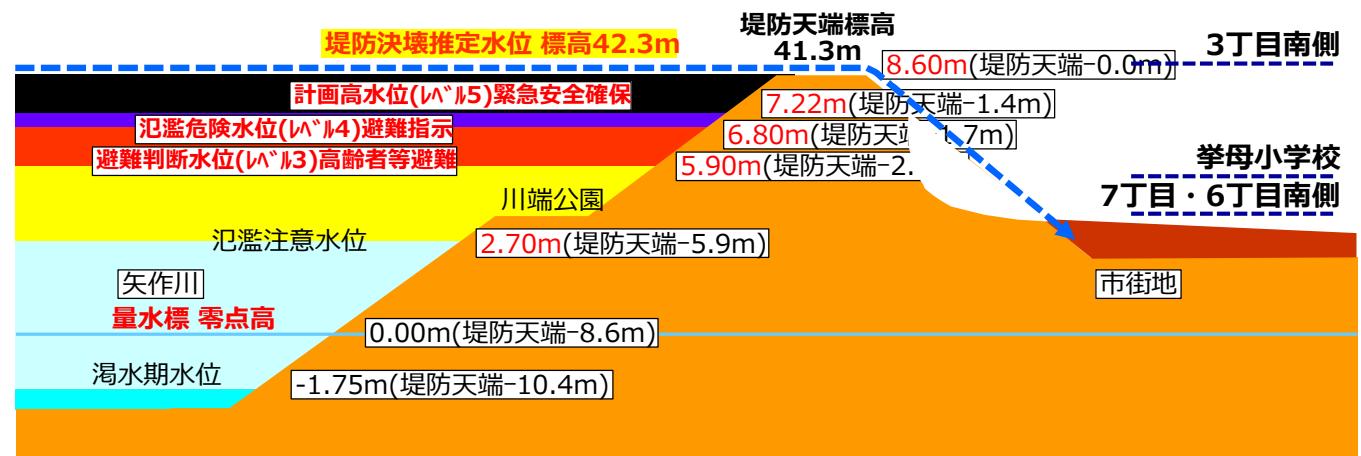
3丁目北側・区民会館

3丁目南側

拳母小学校

7丁目・6丁目南側

市街地



これは高橋付近の矢作川と堤防の断面です。

通常の水位は、堤防最上面より8.6m低い位置です。

標準水位から2.7m上がると氾濫注意水位レベル1。

5.9mでレベル2。ただこの時点ではまだ警報はでません。

6.8mでレベル3。避難判断水位で高齢者等避難指示発令。

7.22mでレベル4。氾濫危険水位で避難指示発令。

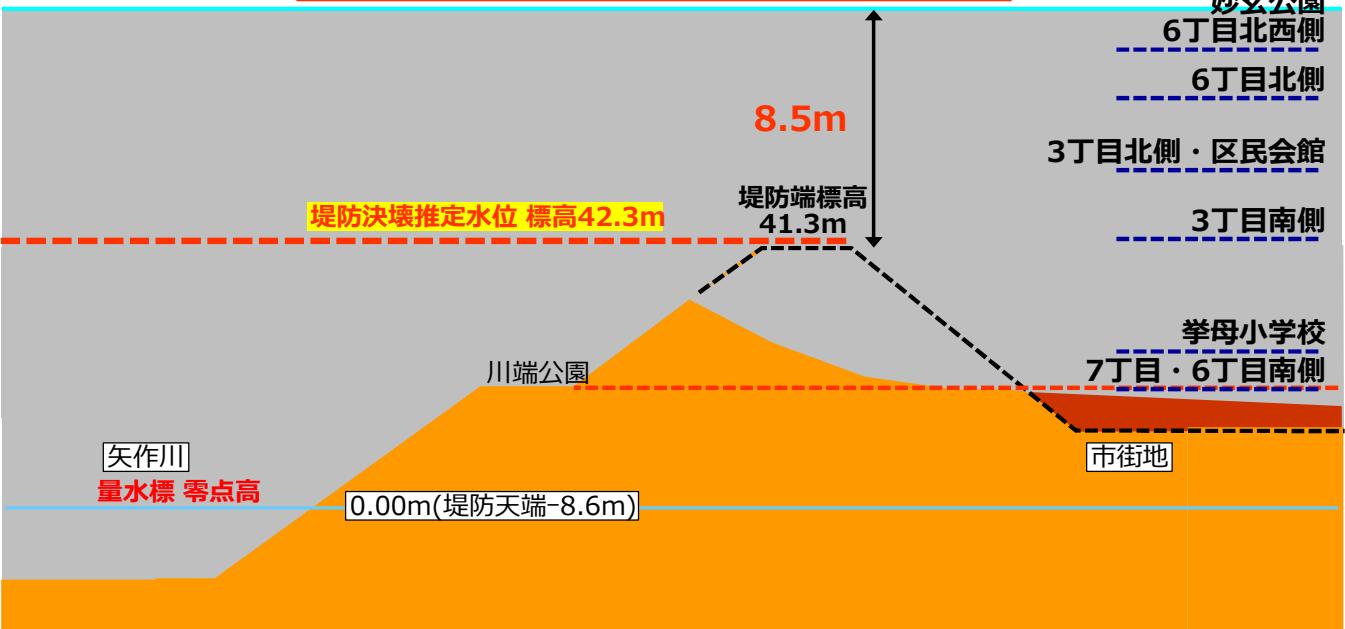
8.6m、すなわち堤防高さと同じ水位になるとレベル5。

計画高水位で緊急安全確保指示が出されます。

さらに水位が標高41.3mを超えた42.3mとなると、水が堤防からあふれることになり、土砂として市街地側に流れ込み、浸食が進むにつれて堤防の決壊につながります。

1000年に一度の水害による水量レベル（イメージ）

1000年に一度の洪水推定水位 49.8m



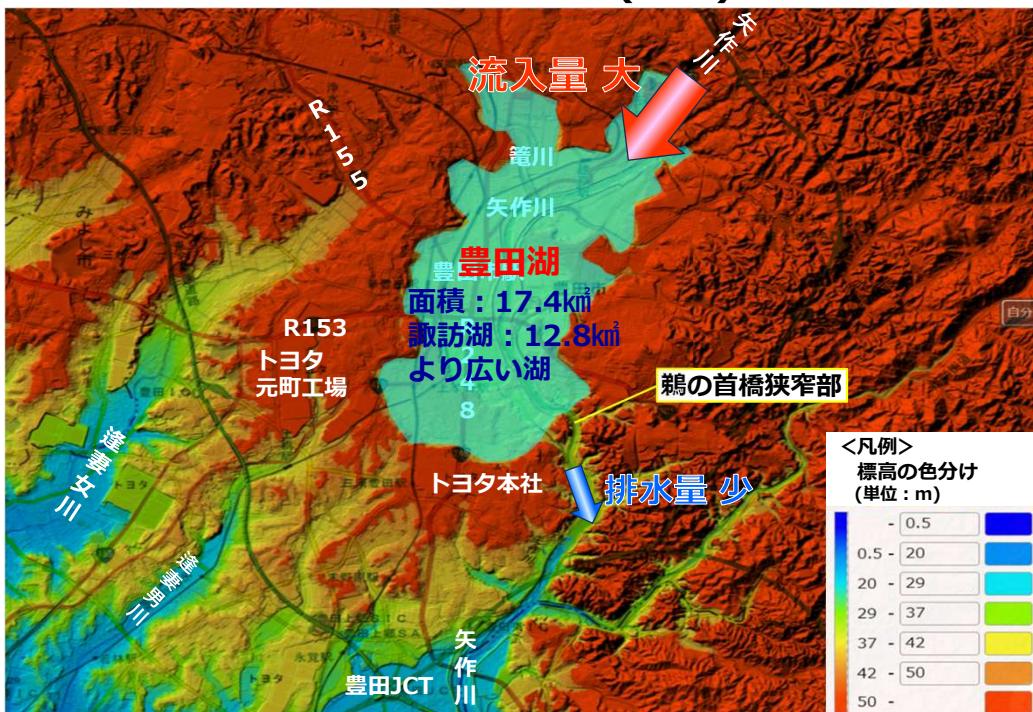
しかし、「堤防が決壊してしまえば、あとは川の水が濁流となって市街地に流れ込むだけではないのか」と疑問に思われる方もおられました。

ただ、1000年に一度の水害では、堤防からさらに8.5メートルの高さまで水位が上がると予想されています。

右は平芝町内の標高ですが、無事なのは平芝町4丁目と5丁目と妙玄公園だけということです。

豊田盆地と矢作川の流入・排出水量（推定）

12/47



ではなぜ水位がこれほどまでに上がるのか。

あくまでも推論ですが、次のように考えました。

この地図で、赤色は標高50メートル以上、黄色や黄緑は標高30メートルから40メートルで、要するに豊田市街地は、周囲を高台に囲まれた盆地です。

1000年に一度の豪雨の場合、矢作川上流から豊田盆地に大量の水が流れ込みますが、ここから排水されるのは、鵜の首橋付近の 狹窄（きょうさく）部で、排水量はごく少量と考えられます。

その結果、豊田盆地に水が溜まって「（仮称）豊田湖」ができ、先ほどの説明のように、矢作川の堤防からさらに8.5メートルの高さまで 水面が上がると推測される訳です。

この「豊田湖」の面積は17.4km²で、12.8km²の諏訪湖よりも広い湖ということになります。

平芝自治区水害時自主避難計画

13/47

1) 水害・避難前提条件

- ・水害は1000年に一度の確率で発生する水害
- ・平芝自治区内では、2・3・6・7丁目が水浸（4・5丁目は安全）
- ・崇化館中学校区の市指定避難場所は崇化館中・朝日小

2) 平芝自治区避難世帯数・人数

	世帯数	居住者数	1世帯当たり人数
全居住者	935世帯	2,128人	2.28人
避難者数	587世帯	1,180人	2.01人
避難比率	62.8%	55.5%	

- ・平芝自治区の避難者数は1,180人

崇化館中学校区内では13,070人の収容人員不足が予想されている

- ・収容可能人員は崇中が屋内490人、朝日小が屋内430人

※崇化館中学校区の方は、他学区の避難場所の利用も必要です。

⇒平芝自治区として自治区内に自主避難場所を設定する

自主避難を計画するにあたっては、1) の前提条件で考えました。その前提で自治区内の避難世帯および人数は、この表の通り、

- ・全居住者935世帯、2,128人に対し、
- ・避難者数587世帯、1,180人となりました。

それに対し、崇化館地区内では13,070人の収容人員不足が予想されています。

屋内収容可能人員は崇中490人、朝日小430人で、ハザードマップにも「崇化館中学校区の方は、他学区の避難場所の利用も必要です。」とあります。

そこで、平芝自治区として自治区内に独自に自主避難場所を設けることにしました。

3) 避難に対する基本的考え方

- ・避難場所の優先順位は以下の通り（居心地がいい順）

- 1) 自宅（平芝町4丁目および5丁目）
- 2) 垂直避難（パンベール平芝公園6F～8Fフォレスト平芝3、4F、アミューズ5F）
- 3) 親戚・知人宅
- 4) 自治区自主避難場所（平芝坂の上、平芝、妙玄の各公園、梅坪神社、安長寺）
- 5) 豊田市指定一時車両避難場所（西山公園）
- 6) 豊田市指定避難場所（崇化館中、浄水中）

注) 4) 梅坪神社は氏子限定で受入れ

安長寺は檀家限定で受入れるが、先着順

5) 西山公園は一時車両避難場所で先着順

市職員は不在かつ食料・飲料の支給なし（車中泊は可能）

6) 崇化館中、浄水中の避難場所は体育館で、1人当り専有面積は2m²で
仕切り壁なし（プライバシー？）

以上のことと踏まえた上で、自治区としての避難場所を以下の1から6に決定し、それぞれの世帯がどの避難場所を希望するか、全世帯にアンケートを取り、希望者が多数いる避難場所については抽選を行い、それぞれの世帯の避難場所を決めました。

その結果は全世帯に連絡しました。

尚、崇化館中学校への避難は、極力人数を減らすため、要介護者、療養者に限りました。

平芝自治区水害時自主避難場所（全世帯アンケート結果）

15/47

	場所	避難人数	避難世帯数	条件等
1)	自宅	900	330	
2)	垂直避難	48	18	バンベル平芝公園5F～8F、フォレ스트平芝3、4F、アミューズ5F 食料・飲料水備蓄要、車移動要
3)	親戚・知人宅	226	81	自治区内避難は自治区が斡旋
自 主 避 難 場 所	① 坂の上公園	194	80	開設～閉鎖まで自治区で管理
	② 平芝公園	94	41	開設～閉鎖まで自治区で管理
	③ 妙玄公園	33	16	開設～閉鎖まで自治区で管理 トイレ水没時再避難要
	④ 梅坪神社	106	59	梅坪神社氏子世帯限定
	⑤ 安長寺	40	12	安長寺檀家限定(但し先着順)
	⑥ 西山公園	436	275	30代以下で人数の少ない世帯
	⑦ 崇化館中	45	20	障害者が含まれる世帯限定
	⑧ 净水中	6	3	病人がいる世帯優先
要避難人数／世帯数合計		1,180	587	

これが各避難場所への避難人数、世帯数です。

自主避難場所具体例

・自主避難場所と避難ルート

- 各避難場所への避難ルートは西山上拳母線を利用しない
- 朝日小は利用せず、浄水中を利用（途上ZENT、豊田高有り）
- 自主避難場所（①②、④～⑥）での駐車後は車の出入り不可



更に、避難時に国道155号線を使うと、交通渋滞に巻き込まれるかもしれない。区民しか知らない裏道を通るルートを決めて、これも全世帯にお知らせしました。

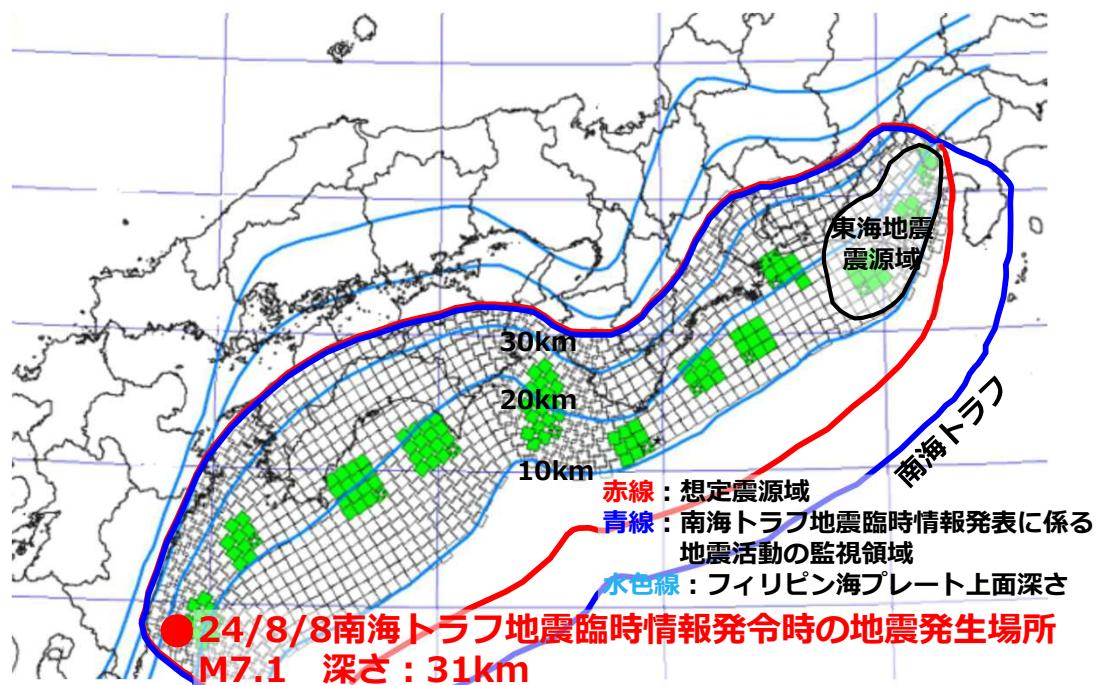
また、水没地域の世帯を対象に、計5回、水害マイ・タイムライン講習を行い、約120世帯の方々に参加いただきました。

— 地震への対応 —

次は地震への対応です。

南海トラフ大地震想定震源域

18/47



これは、南海トラフ地震の想定震源です。
東海地震の想定震源域から九州日向灘までの地域が
震源域として想定されています。
ちなみに、2024年8月8日に南海トラフ地震臨時情報
が発令された際の震源地は、赤丸で示す日向灘沖です。



南海トラフ大地震想定震度（愛知県）

19/47

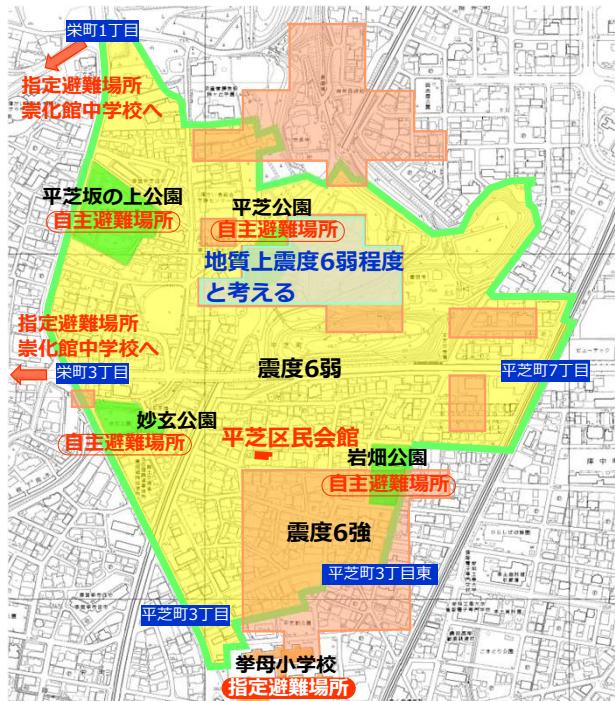


これは、愛知県全体の想定震度です。
豊田市街地の想定震度は、ほぼ6弱であると予想されています。



南海トラフ大地震想定震度 (平芝自治区)

20/47



最大想定震度モデル

<予想内容>

- ・自治区全体としては、過去の地震最大と同じ「震度6弱」
- ・平芝公園全域、平芝町2丁目から3丁目付近で「震度6強」が予想されている

<上記に対する考察>

- ・「震度6強」の箇所の内平芝公園が含まれる個所では花崗岩が確認できるので、(愛環鉄道トンネル調査報告書) 「震度6弱」程度と思われる
- ・また、平芝町2丁目から3丁目にかけての震度6強についても比較的地盤が安定しているので、そこまではいかないではと思われる

過去地震最大モデルの場合、平芝自治区内では震度6弱で、一部震度6強と想定されています。

ただ、愛環トンネルの地質調査結果からも、比較的、地盤が安定しているようなので、そこまではいかないかなとも思われます。

被害予測結果（地震被害：過去地震最大モデルと理論上最大想定モデル（豊田市））
・地質想定モデル

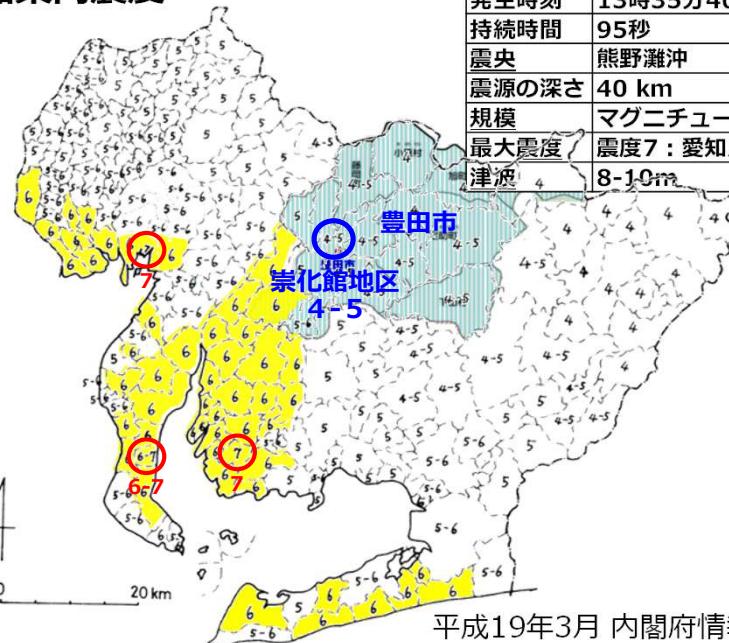
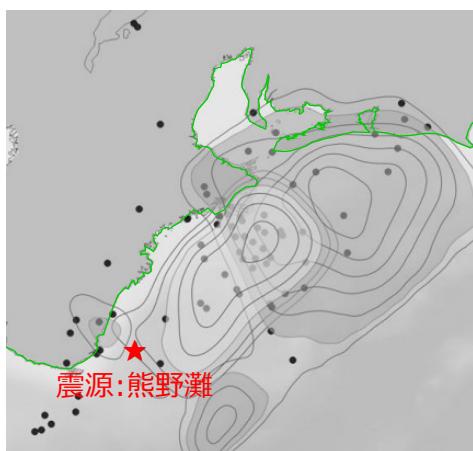
■：想定モデル

	従来の地震測定モデル	新たな地震想定モデル	
項目	東海・東南海地震 (平成14年度愛知県の予測)	過去地震最大モデル	理論上最大想定モデル
地震規模	M8.27	現在内閣府で検討中	M9.0
周期	約100～150年の間隔	約100～150年の間隔	1000年に一度、あるいはそれよりもっと発生頻度が低い
地震想定	東海地震・東南海地震の2つの地殻運動を想定したモデル	過去に南海トラフで繰返し発生している地震のうち、発生したことが明らかで規模の大きい5つの地震を重ね合わせたモデル	南海トラフで発生する恐れのある地震のうち、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震を想定したモデル
直接被害の予測数値	算出可能	算出可能	
間接被害の予測数値	算出可能	算出不可	

昭和東南海地震（1944年）

21/47

昭和東南海地震による愛知県内震度



昭和東南海地震の概要

発生日	1944年12月7日
発生時刻	13時35分40秒
持続時間	95秒
震央	熊野灘沖
震源の深さ	40 km
規模	マグニチュード7.9
最大震度	震度7: 愛知県西尾市
津波	8-10cm

平成19年3月 内閣府情報ページ

https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/kyoukunnokeishou/rep/1944_tounankai_jishin/index.html

これは、終戦直前の1944年12月7日に発生した、昭和東南海地震の震度です。

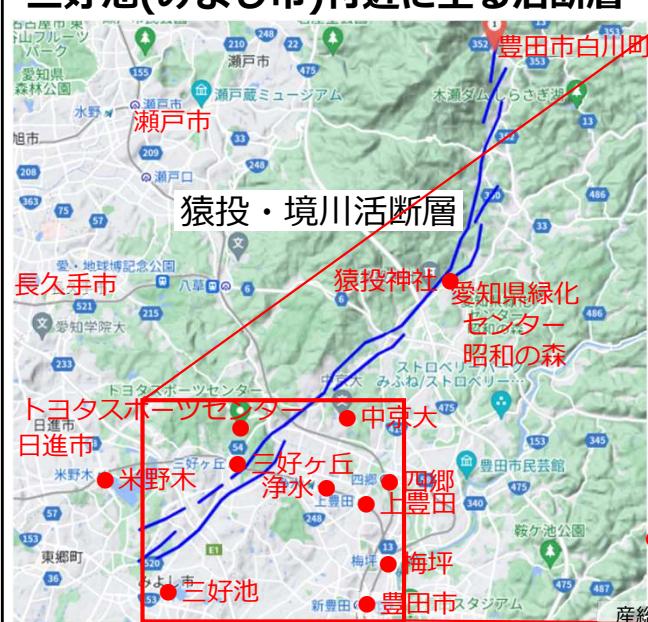


愛知県内では、西尾市や美浜町で震度7、伊勢湾岸、三河湾岸、知多半島、渥美半島では震度6を観測していますが、豊田市では、ほぼ、4から5の震度となっています。

このことからも、津波の影響のない内陸部では、被害はさほど大きくはないのでは、とも考えられます。

猿投・境川活断層について

三国山山麓(豊田市白川町付近)から
三好池(みよし市)付近に至る活断層



猿投・境川活断層から平芝までの距離
約5.0km



では、この地域で震度7の地震は起きないかというと、可能性はあると言えます。それは、「猿投・境川断層地震」です。

この断層が活動を起こしたら南海トラフ地震以上の被害が起こるのではないかと考えました。

「猿投・境川断層」は豊田市白川町の三国山山麓から、みよし市の三好池付近に至る、約20kmに渡る活断層です。

そしてこの断層は、右に示すように豊田市街地から約5kmという近さにあります。

猿投・境川活断層について

能登半島地震の珠洲市と珠洲沖、輪島沖の各断層帯の関係と平芝と猿投・境川断層の関係は類似している



左は能登半島地震の珠洲市と珠洲沖、輪島沖断層帯の関係ですが、これと平芝自治区と猿投・境川断層の関係が類似していると考え、能登半島地震での被害状況を調査しました。

能登半島地震発生直後の珠洲市映像

24/47

NHK NEWS 2024. 1. 1



これは、地震発生直後の珠洲市役所からの映像です。

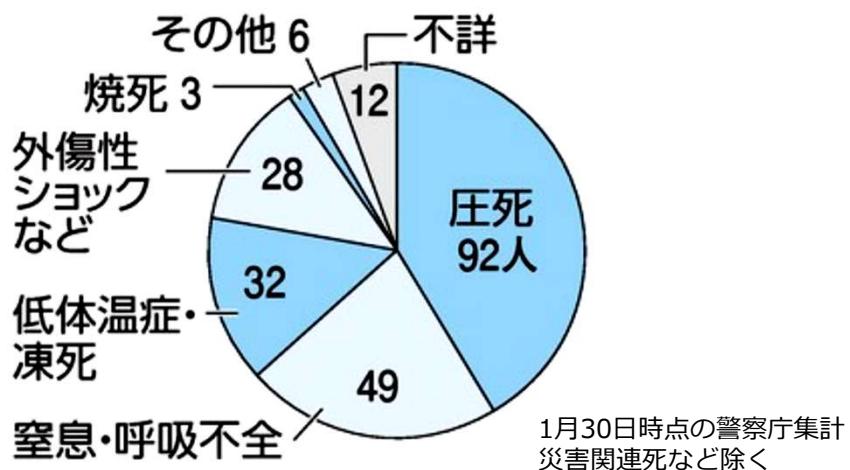
映像の画面左に、地震発生直後から瓦屋根の落下による土埃が舞っており、その後次々に土埃が舞ったり、家が倒れる様子が撮影されています。



揺れによる被害（建物の倒壊）

25/47

能登半島地震による死因



- 死因は圧死が最多
- 耐震化が進んでいない古い木造家屋が多く、激しい揺れで倒壊が相次いだ

このグラフは、能登半島地震における被災者の死因を表したものです。

このグラフから、圧死が最多であることが分かります。

耐震化が進んでいない古い木造家屋が多く、激しい揺れで倒壊が相次ぎ、多くの犠牲者が出たと考えられています。

揺れによる被害

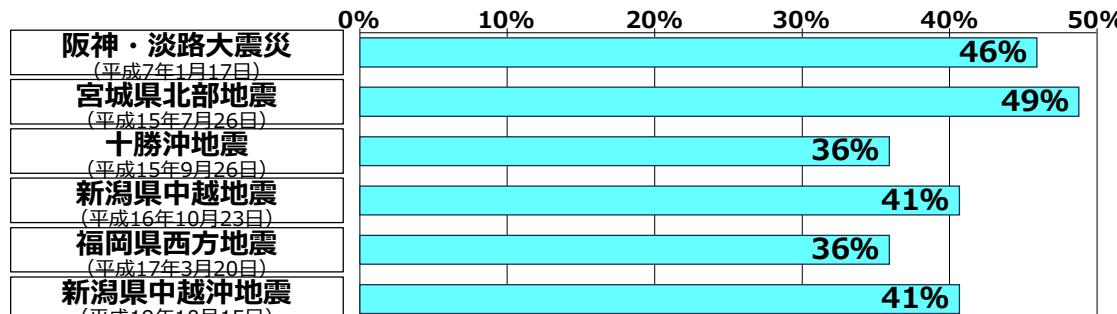
家具転倒・移動、食器棚散乱による負傷者の割合

耐震化で建物の倒壊をまぬかれて
ても
倒れた家具や散乱した食器等による

- ・負傷（最悪の場合圧死）
 - ・避難障害（逃げ場がなくなる）
 - ・火災
- の「3つの危険」がある



北淡震災記念公園HP



家具転倒・落下・移動による負傷者割合

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/camp/2023/202302/data/camp2.pdf> (東京消防庁)

次は、家具転倒や移動および食器等の散乱防止です。

建物の倒壊をまぬかれて、倒れた家具や散乱した食器などで、



- ・けがをしたり、
- ・逃げ道をふさがれたり、
- ・火災が発生したり

の3つの危険があると言われています。

下のグラフは過去に発生した地震において、家具類の転倒でけがをされた人の割合で、いずれも約4割前後となっているので、これも重要なポイントであると考えます。

地震火災による被害

27/47

能登半島地震による輪島の火災



次は、火災です。

能登半島地震では、輪島市で大規模な火災が発生しました。

左は、焼失前の画像で、赤枠で囲った範囲が火災により焼失した範囲です。

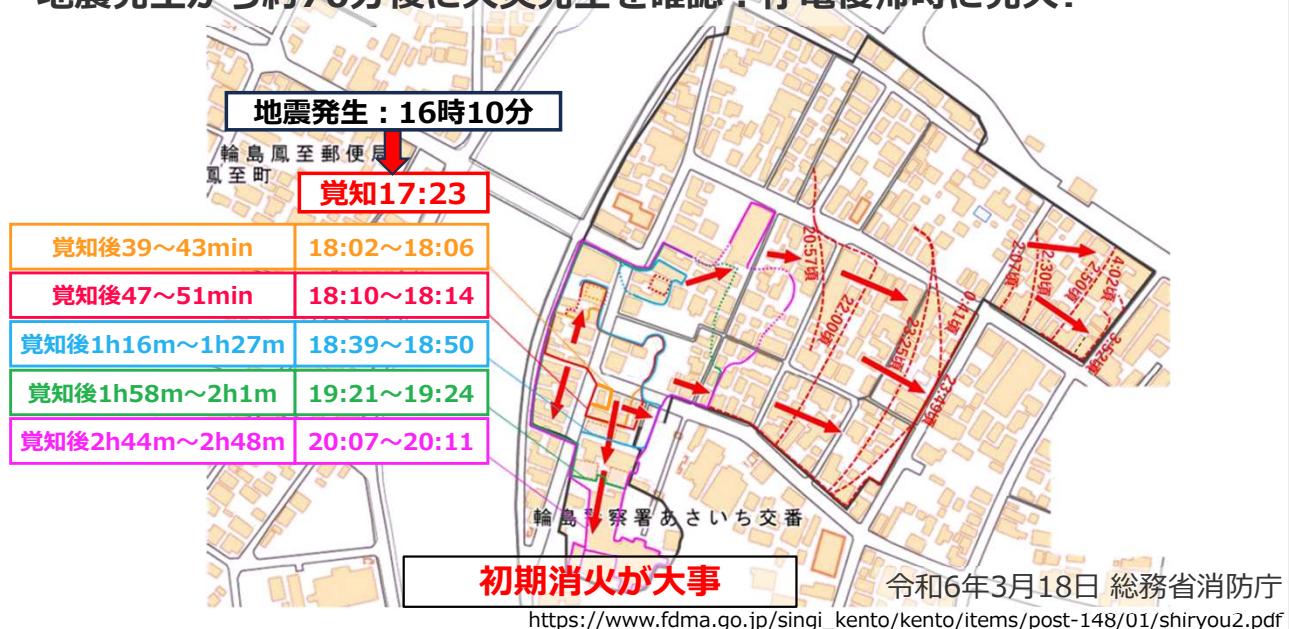
右が火災後の画像で、焼失面積は約50,800m²、これは、バンテリンドーム名古屋1個分の広さを超える面積です。

また、当日は、南西の風約2メートルで、決して強風にあおられて火災が広がったわけではありません。

※バンテリンドーム名古屋の広さ：48,169m²

地震火災による被害

- ・火災は1件の家（木造2階建て、築約50年）から発生し延焼
- ・地震発生から約70分後に火災発生を確認：停電復帰時に発火？



火元は倒壊した1軒の家屋で、そこから火災が広がったとのことです。

ここで注目すべきは、「地震の発生は16時10分で、火災発生が確認されたのはそれより約70分後だということです。

停電後の復旧時に、倒壊した家屋の損傷した配線がショートして火災が発生したものと考えられています。

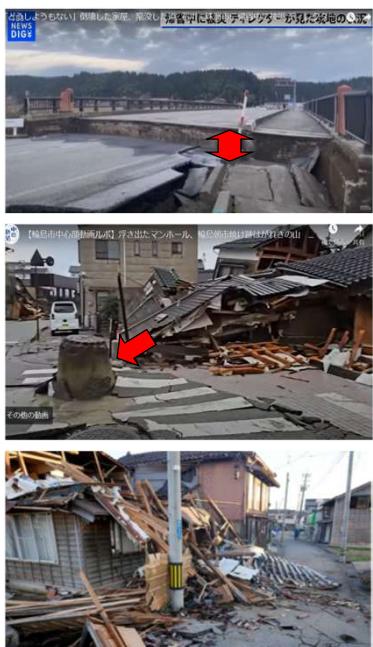
従って、火災については、地震発生直後はもちろん、停電からの復旧時にも注意が必要だということです。

また、延焼を防ぐには早めの初期消火が重要です。



地震発生時の地域への影響

猿投・境川断層で震度7の地震が発生した場合



- ・境川・矢作川の橋は橋台部分で1mの段差が発生し、2日程度通行止め
- ・各所で、汚水・雨水マンホールが浮き出す
- ・倒壊家屋で道路がふさがれる



次に、猿投・境川断層で震度7の地震が起こった場合、どのような影響があるでしょうか。

まず、境川や矢作川・籠川などにかかる橋の橋台部分で、1mほどの段差が発生して、通行不能になります。

また、各所でマンホールが浮き出して通行を妨げます。

さらに、倒壊家屋で道路が塞がれるケースもあります。

これは、市街地周辺の橋の位置を示したものですが、もし、橋台に段差ができると復旧には早くて2、3日はかかるので、その間は周辺からのアクセスができない、すなわち、支援物資も届かず、消防もすぐには来れないということです。

従って、我々としては自助・共助が必要です。

そこで、区民の皆さんには、次の3つをお願いしました。

建物被害への対応

地震から命を守る⇒木造住宅を「耐震化」

- ・旧耐震基準 1950年 震度5程度までの地震で修復可能、倒壊なし
- ・新耐震基準 1981年 震度6強～7の大規模地震で倒壊なし
- ・新・新耐震基準 2000年 新耐震基準+地盤調査・接合部金物使用・耐力壁バランス



「なおす」



「こわす」

「まもる」
耐震シェルター（部屋型）「まもる」
防災ベッド

命を守るために→「地震防災補助事業」を利用可 (2025年5月22日現在)

		補助金額	対象要件（概要）
なおす	一般耐震改修工事	上限115万円	診断結果1.0未満
	段階的耐震改修工事	上限60万円	診断結果0.4以下
こわす	解体工事	上限52万円	診断結果1.0未満
まもる	耐震シェルター・ 防災ベッド整備工事	上限30万円	診断結果0.4以下 高齢者又は障がい者の居住

<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/bousaishien/1013899/1002571.html> (豊田市)

一つ目は、木造住宅の耐震化です。

大地震のたびに耐震基準が見直され、現在は1981年の新耐震が基準となっています。

1950年の旧耐震の家屋も多くみられるので、建物が壊れないようにする対応をお願いしました。

建物被害への対応

31/47

地震から命を守る⇒家具転倒・移動、食器等散乱防止

1) 家具の固定

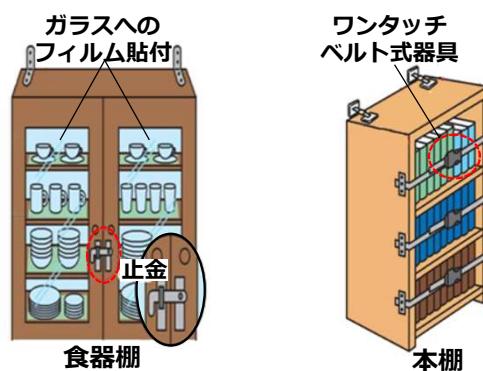


※安全な家具の配置も重要

2) 食器等の散乱防止対策

- ・扉開き防止止金
- ・ガラス飛散防止フィルム
- ・ワンタッチベルト式器具
- ・食器すべり止めシート

※食器は重いものを下へ置く



<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/tento/index.html> (豊田市)

二つ目は、家具転倒防止です。

仮に建物が無事であっても、家具の転倒や移動、食器等の散乱により怪我をすることがあります。



家具転倒や食器等の散乱防止を行うと同時に、安全な家具の配置も行ってもらうようお願いしました。

また、自治区内では、一部の高齢者のお宅で、転倒防止対策を役員と民生委員とで行っています。

建物被害への対応

32/47

地震から命を守る⇒地震火災への対応

1) 家屋倒壊や家具・家電の転倒による電気配線損傷防止

2) 出火原因への対策

- ・地震後の通電火災

＜対策＞感震ブレーカーの設置

地震後のブレーカー遮断

- ・ストーブの転倒やガス漏れによる出火

＜対策＞ストーブの電源や元栓の遮断

3) 確実な初期消火

＜対策＞消火器の常備とすぐに使える
適切な場所への設置

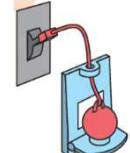
※共助による初期消火活動を考えると
玄関先への設置が望ましい



分電盤タイプ



コンセント
タイプ



簡易タイプ
感震ブレーカー

<https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/r2/chapter1/section1/para3/56542.html> (総務省消防庁)

三つ目は、地震火災への対応です。

出火原因対策として、感震ブレーカーの設置や、地震後にブレーカーを落とすことで、通電火災を起こさないようにすること。また、火災が発生した際の初期消火のために消火器を常備し、いざ地震が発生した際は、誰でも消火活動に使えるよう、消火器を玄関先に置いてもらうよう、準備をお願いしています。

玄関先に消火器が出ているという事は、その世帯は無事だという事も分かります。



地震後の自主防災活動

・震度6弱以上の地震が発生した場合に各班を招集、活動実施

	情報班(組長)	消火班		避難誘導班		救護班		給食給水班	
隸組	昼間	夜間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
1	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
2	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
4・3	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
5	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
6	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
7	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
8	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
9	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
10	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
11	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
12	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
13	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
15・14	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
16	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
17	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
19	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
21	組長	店長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
22	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
25	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
26	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
30	組長	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
36	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
42	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
43	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
44・45・46	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
47	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
52	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
53	組長	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組
54	組長	組長	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組	隸組

以上のような理解活動を行い、防災組織を再編しました。

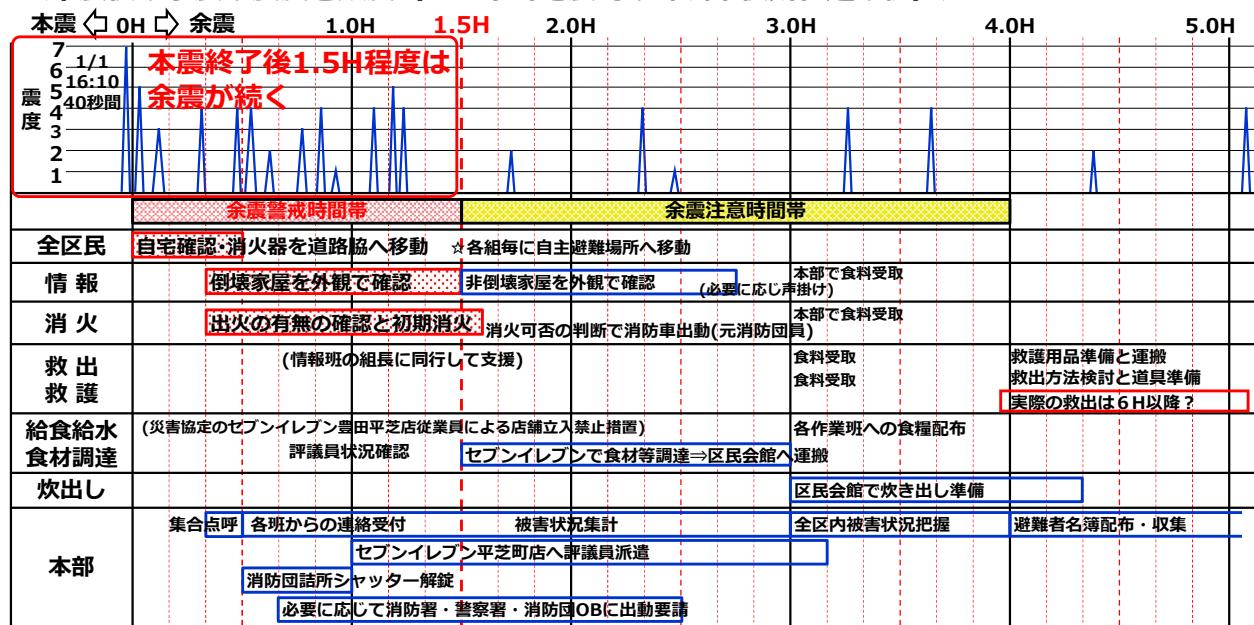
このように班分けをし、各組長を通して班員を組単位で募って、総勢約250名の自主防災組織をつくりました。

各班は昼の部（午前7時から午後7時）と夜の部（午後7時から午前7時）に分け、昼の部を普段在宅されている高齢の方々中心、夜の部を昼間は仕事でご不在の若い方々中心に担当していただいています。

地震後の自主防災活動

・本震後4時間程度余震が続く中の活動タイムライン策定

<本震後の余震の震度と頻度（能登半島地震での珠洲市役所付近の例）>



これは地震発生後の各班の活動タイムラインです。

本震後1時間半は、震度5弱の余震が続くため、その間は余震警戒時間帯とし、自宅やご自身、ご家族の安全確認と消火器の道路脇への移動を行います。

とはいえ火災や建物倒壊については旧を要するため、情報、消火、救出救護の各班は一緒になって、地震収束後30分後くらいから各組内の状況を見て回り、必要に応じて消火や救出などの活動を行うとしました。

— その他の活動 —

防災マップ・防災カルテ ホームページ、安否確認システム、防災コーナー

次にその他の活動です。

防災マップ・防災カルテ（令和6年12月全世帯配布）

36/47

防災マップ <地震編>

防災マップ <水害編>

-平芝自主防災会組織表-

地震時

水害時

**豊田市崇化館地区平芝自治区
防災カルテ**

保存版

令和6(2024)年11月作成

左が防災マップです。
地震と水害では内容が異なるので、地震編と水害編に分けました。
真ん中は防災マップの裏面で、地震後の詳細な活動タイムラインです。
右は防災カルテです。国や県、市の情報では範囲が広すぎるので、平芝自治区に特化してまとめたものです。
これらは昨年12月に全世帯に配布しました。

平芝自治区ホームページ（令和6年8月立上げ）

37/47

平芝自治区ホームページ

おしらせ 組合・規約 行事予定 区民だより 回覧板 提示板 平芝自主防災会 よくある質問



平芝区民会館

〒471-0065 愛知県豊田市平芝町3-4-14

TEL/FAX : 0565-33-3475

e-mail : hirashitaku@hm.aitai.ne.jp

開館日：毎週月火土 9:00～12:00・13:00～15:00（祝日：休館日）

昨年8月、自治区ホームページを立ち上げました。
「平芝自治区」で検索すればご覧いただけます。
ホームページの一番下の方に自主防災会の資料を掲載
していますので、ぜひご覧ください。



安否確認システム

<スマホ入力画面>

<防災対策本部PC画面>

ID	タイムスタンプ	携帯電話	住まい	部屋番号	世帯主名	世帯主カタカナ	入力者名	世帯人数	本人のケガ	同居家族のケガ	同居家族のケガ人數の内で重傷人數	救出要請
142	2025/10/19 17:32:55	090*****	井上 貢一	502	井上 貢一	イノウエ シンイチ	井上 貢一	3	なし	なし	なし	不要
143	2025/10/19 18:19:43	090*****	平芝 幸英	601	平芝 幸英	ヒロシマ ツヒデ	平芝 幸英	4	なし	なし	なし	不要
144	2025/10/19 18:46:19	090*****	高木 博幸	304	高木 博幸	タカミ ヒロユキ	高木 博幸	4	なし	なし	なし	不要
145	2025/10/19 18:54:19	090*****	伊藤 雅人	503	伊藤 雅人	イエト ヤト	伊藤 雅人	1	なし	なし	なし	不要
147	2025/10/19 20:58:36	090*****	大庭 太一	807	大庭 太一	オハラ タイチ	大庭 太一	3	なし	なし	なし	不要
148	2025/10/19 22:34:20	090*****	中野 和子	806	中野 和子	ナカノ カズコ	中野 和子	1	なし	なし	なし	不要
149	2025/10/19 22:48:53	056*****	佐々木 喜久男	504	佐々木 喜久男	ソサエキ ハクス	佐々木 喜久男	4	なし	なし	なし	不要
150	2025/10/20 16:18:13	908*****	吉川 幸久	602	吉川 幸久	ヨシカワ キクオ	吉川 幸久	5	なし	なし	なし	不要
151	2025/10/22 8:45:18	090*****	平芝 吉郎	601	平芝 吉郎	ヒラシマ ヨウリ	平芝 吉郎	3	なし	なし	なし	不要
152	2025/10/27 14:33:03	090*****	高橋 茂	502	高橋 茂	タカハシ マサル	高橋 茂	2	なし	なし	なし	不要
153	2025/11/02 17:24:55	090*****	平芝 幸三	502	平芝 幸三	ヒラシマ シゲル	平芝 幸三	2	なし	なし	なし	不要
154	2025/11/03 19:50:49	090*****	一戸建 井上 貢一	502	一戸建 井上 貢一	イノウエ シンイチ	一戸建 井上 貢一	3	なし	なし	なし	不要
155												
156												
157												
158												
159												
160												

また、今年、安否確認システムを立ち上げました。
いざという時、区民の皆さんのが入力・送信すると、その情報が
瞬時に防災対策本部に届きます。
10月19日の防災訓練の後、全世帯の安否確認入力訓練を行いました。

防災コーナー (区民会館2Fに設営)



これは、区民会館2階のホールに設置した防災コーナーです。10月30日の拳小2年生の社会科見学訪問に合わせて、防災を学んでもらえるように作りました。見学当日は、皆楽しんで防災のことを学んでくれました。

— 今後の課題 —

以上が我々の活動内容ですが、やはり課題は残っています。
次に今後の課題についてお話しします。

1. 水害について

1) 要介護者・療養者等の避難について

- ・要介護者・療養者等の避難手段、避難経路、避難順序

2) 150年に一度の水害の可能性

- ・平成30年倉敷市真備町水害（後述）

2. 地震について

1) いつ起きるかわからない地震に対する意識の継続手段

- ・定期防災訓練、勉強会、マイ・タイムライン等

3. 防災組織の新陳代謝

- ・次世代への引き継ぎ

まず水害について、一つは要介護者や療養者の方々の避難の手段、避難経路、避難順序等がまだ何も決まっていないことです。

当自治区でもまだ手付かずの状況ですが、ただこれは、1自治区だけで解決できるものではないと考えています。

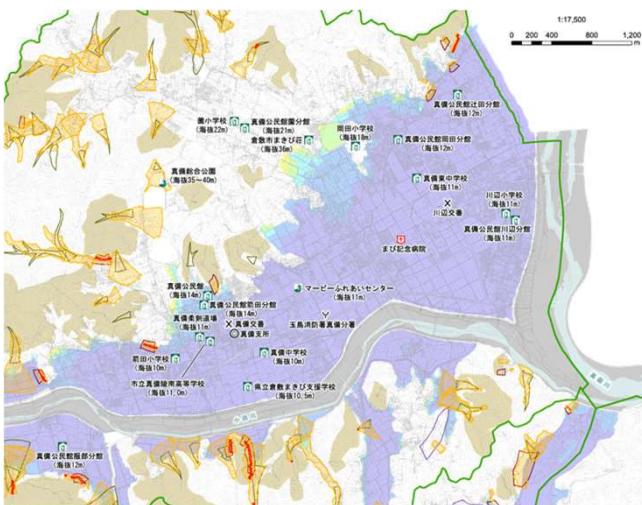
水害の二つ目は、150年に一度の水害ですが、後で説明します。

次は地震についてで、いつ起きるかわからない地震に対して意識をどのように継続していくか。

そして最後に、次の世代への引き継ぎも課題だと考えています。

倉敷市真備町水害（平成30年7月6日発生）

2017年2月 倉敷市洪水ハザードマップ



高梁川水系・小田川の想定降雨確立は、100年に1回程度の確率（2日間で225mmの降雨）を想定

2018年7月 真備町浸水被害状況



真備地区では川の堤防が決壊して51人が犠牲となった。
(浸水被害はハザードマップとほぼ同じ)

<https://www.komazawa-u.ac.jp/~fumio/disaster/2018jul-w-japan/hazardmap-mabi.pdf>

<https://www.gsi.go.jp/BOUSAII/H30.taihuu7gou.html>

では、150年に一度の水害について、考えるところを説明します。左は、2017年2月に倉敷市が発行した洪水ハザードマップです。これは、100年に1回程度、2日間で225mmの降雨と予想されていました。

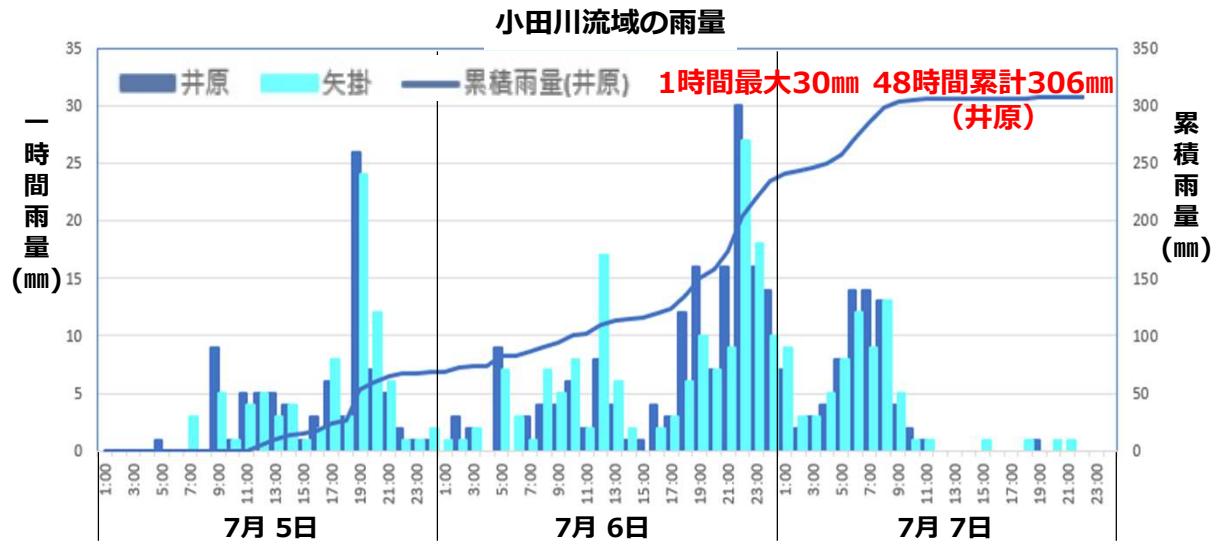
右がその1年後、2018年7月6日の豪雨による真備町の水害の状況です。

真備地区では、小田川の堤防が決壊し、51人の方々が犠牲となりました。

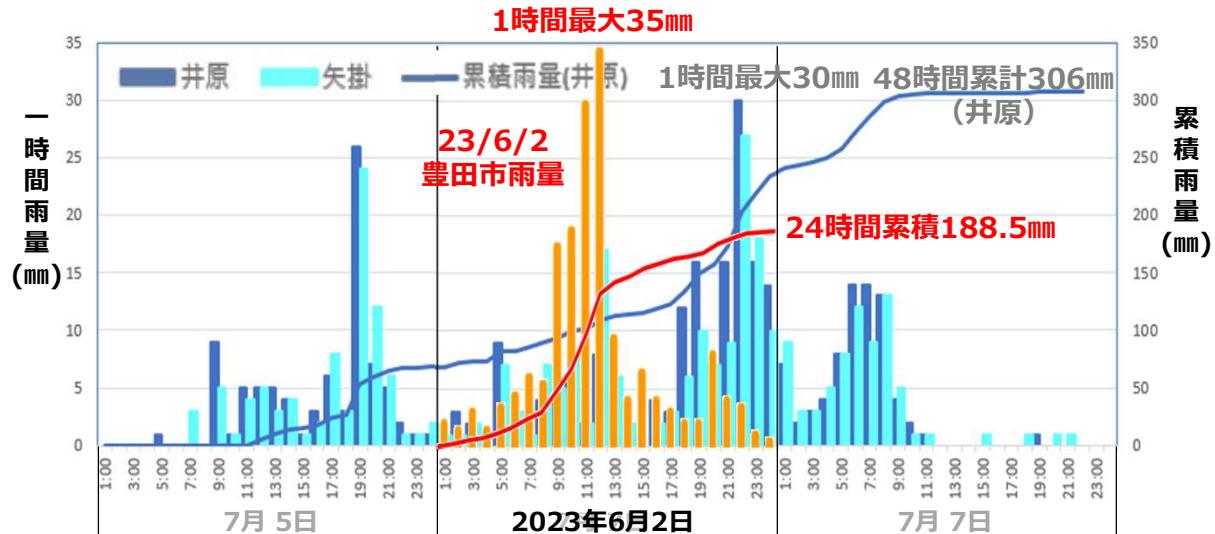
双方を見ると、ハザードマップの予想と実際の被害がほぼ同じということが分かります。

小田川流域の雨量

43/47



これはその時の小田川流域の雨量で、48時間累積で306ミリ、1時間最大雨量30ミリでした。



そこに、2023年（令和5年）6月2日の豊田市の雨量グラフを重ねました。

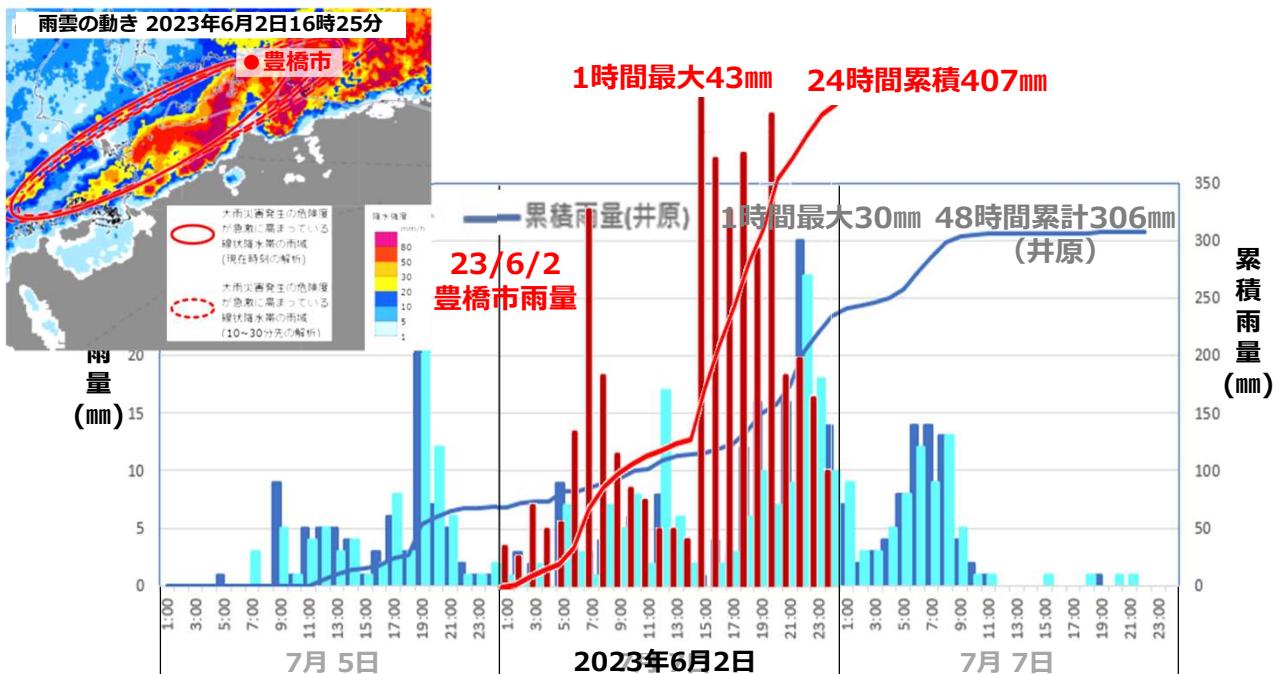
この時、小田川の雨量を超える、24時間累積188.5ミリ、1時間最大雨量35ミリを記録しました。

豊田市全域にレベル4の避難指示ができました。

幸い、大事には至りませんでしたが、これは災害と紙一重だったかもしれません。というのは、

2023年6月2日豊橋市の雨量

45/47



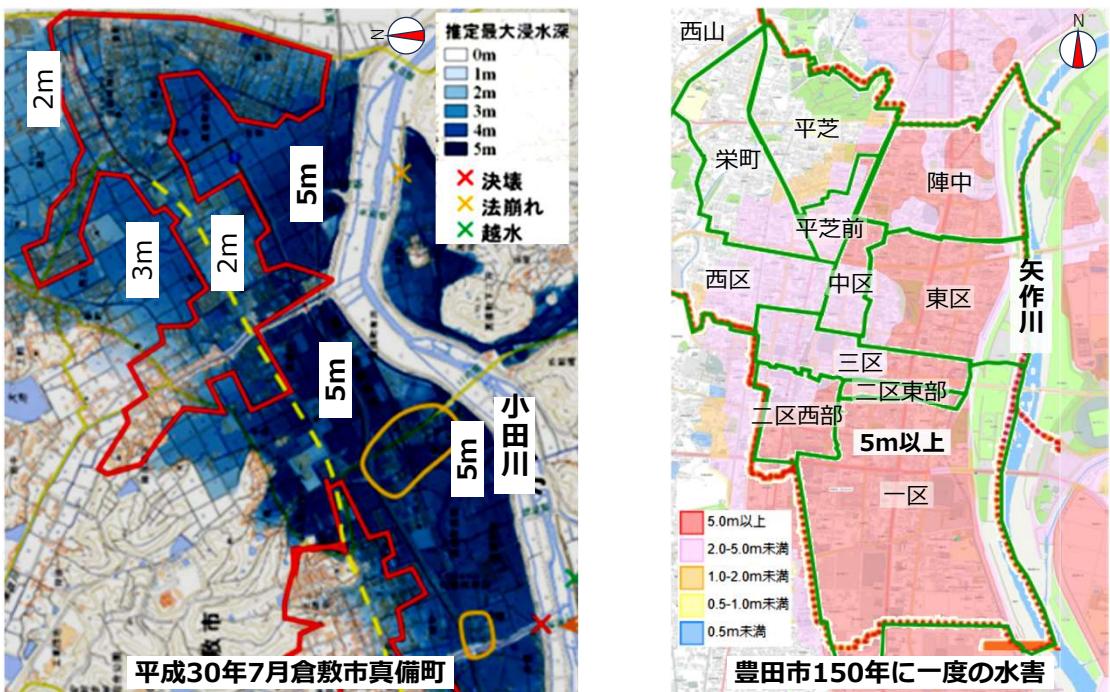
これは同じ日の豊橋市の雨量です。

線状降水帯が停滞し、24時間累計雨量407ミリ、1時間最大雨量43ミリと、豊田市のそれをはるかに超える数値です。

もし、この線状降水帯が、2、30キロ西に寄っていたら、豊田市で150年に一度レベルの水害が起こっていたのかもしれません。

真備町水害の状況と豊田市150年に一度の水害被害予想比較

46/47



これは、真備町の水害被害範囲と、同じ縮尺の豊田市の150年に一度の水害シミュレーションを並べたものです。

両者がよく似ていることが分かります。

すなわち、今は1000年に一度の水害について考えていますが、豊田市でも150年に一度の、いや今の気象状況を見ると二度、三度の確率かもしれません、水害への対応を考えておくべきではないでしょうか。

以上で自主防災活動の説明を終わります。

- ・今回紹介した活動は区民の皆さんの理解と協力がなければ到底実現できなかつた。まずは、各組長さんおよび区民の皆さんにお礼を述べたい
- ・水害や地震等の自然災害は、起こらないにこしたことはない
- ・我々の時代に起こらないことを願うが、子の代・孫の代に起こらないとも限らない
- ・「安全」「安心」を次の世代に繋いでいくことが、我々の世代の責任であるとの想いで、活動を行つてきた
- ・まだまだ課題は残つているが、これからも続けていくことで、この活動を次の世代に引き継いでいきたい

<区長まとめ>

今回紹介した活動は区民の皆さんの理解と協力がなければ、到底実現できませんでした。

まずは、ご理解・ご協力いただいた各組長さんおよび区民の皆さんにお礼を申し上げたいと思います。

水害や地震などの自然災害は、起こらないにこしたことはありません。

我々の時代に起こらないことを願つておりますが、子の代・孫の代に起こらないとも限りません。

「安全」と「安心」を次の世代に繋いでいくことが、我々の世代の責任であるとの想いで、活動を行つてまいりました。

9月と10月に拳母小学校2年生の社会科見学があり、子どもたちが区民会館を訪問してくれました。そこでは防災に関する質疑があつたのですが、我々も感心させられるようなするどい質問をしてきた子どもたちもいました。

また、7月と9月に計3回、崇化館中1年生の総合学習で防災のグループ討議・発表があり、当自治区の役員がアドバイザーとして参加しました。その時も生徒たちは防災のことをしっかりと調べており、例えは1000年に一度の水害の際、豊田市の避難者の内、13,070人が収容人員不足になることもしっかり調べていました。

このように、防災について小中学生のころから関心を持ってもらえば、次の世代への橋渡しができるのかなど考えた次第です。

まだまだ課題は残つてはおりますが、これからも続けていくことで、この活動を次の世代に引き継いでいきたいと考えております。

**平芝自治区
平芝自主防災会**